

第2章 加飾を実現する技術

第1章では、加飾を概観し、その目的と求められる機能などについてまとめました。本章では、これらのプラスチック加飾を実現する具体的な技術、代表的な技術について基本的な理解を進めましょう。

▶プラスチック射出成形品の加飾

プラスチック成形品に限りませんが、製品・商品に加飾をほどこすためには、なんらかの膜やフィルムや物質を付加的に形成することが求められるでしょう。これらの様々な処理やプロセスをまとめてみると、幾つかの手法に集約されます。

秋元は、加飾を実現するための処理に注目すると、以のようにまとめることができると示しています⁴⁾。

- 膜をつくる(表層膜を生成する)
- 塗る
- フィルム・シートを貼る
- 箔・インキを貼る
- 着色する(成形材料に)
- 表面形状を付与する

これらの処理と、一次・二次加飾を考えて具体的な加飾技術を分類しました。第2-1表のように分けられると思います⁴⁾。